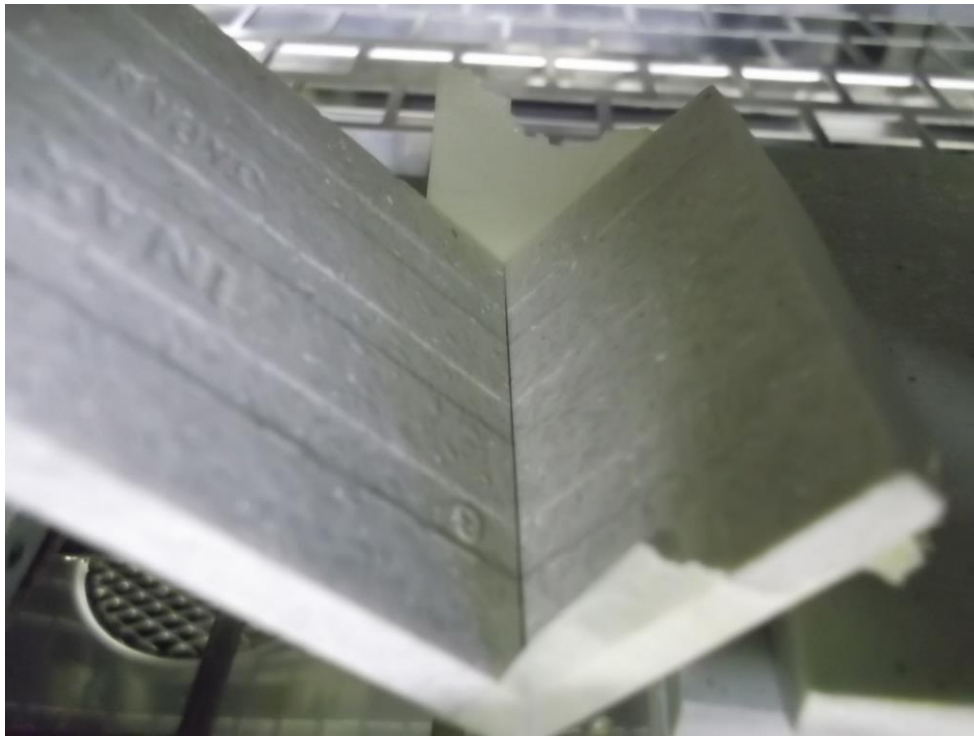
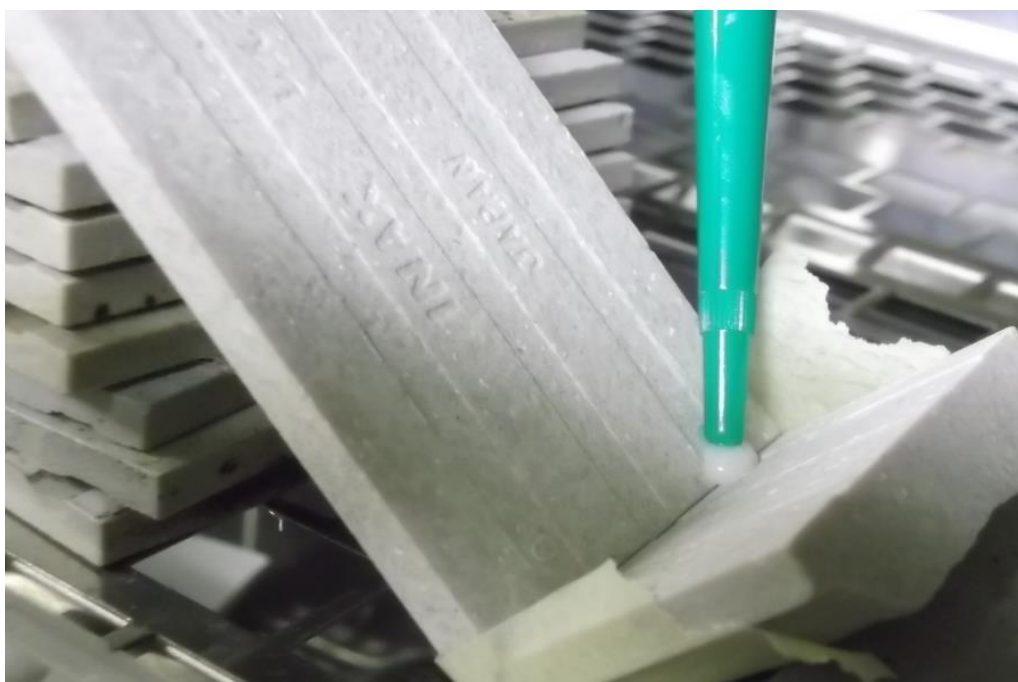


タイル役物—流し込み接着剤の加工手順

- ① タイルは約 44 度前後にすこし鋭角にカットし、テープで 90 度にセットしてください。90 度角度台上でセットすれば、角度が安定します。合わせたタイルには少し隙間ができます。この隙間がないと中～先端まで接着剤樹脂が回りません。



- ② 油さしボトルにアルファレジン接着剤を入れ、タイルに沿って 2~3 か所落とし込み、加熱炉に入れる。加熱は 70℃以上 120 度未満が望ましい。温度が低いと接着剤の周りが悪くなる。



接着剤落とし込み状態は下の写真のようになります。



アルファレジン EP の選定は？

主剤は各グレード共通で、アルファレジン EP-700A を使用します。配合比はすべて 1 : 1 です。硬化剤は垂れやすいものから垂れにくいものまで各種あります。

EP-236B が最も垂れにくく、EP-239B が最も垂れやすくなっています。

また、硬化の早い冬場用硬化剤、硬化が遅く、可使時間の長い夏場用硬化剤があります。

- ① 合わせたタイルの隙間広さによって変わってきます。隙間が小さい場合はより垂れやすい接着剤が適しています。
- ② 硬化温度(加熱炉温度)によってたれ性が変わります。温度が高いと垂れやすく、温度が低いと垂れにくくなります。
- ③ タイルが厚い場合はより垂れやすいタイプが適しています。(EP-239B,EP-238B)
- ④ リブタイルなどで、合わせ面が大きく口を開いているようなタイプのタイルは、より垂れにくい接着剤が適しています。(EP-236B)
- ⑤ EP-237B、EP-238B は最も標準的なタイプで、ほとんどのタイプで済ませることが出来ます。

アルファ化研株式会社

愛知県日進市浅田町下小深田 6-4

TEL 052-804-4878 FAX 052-805-3878

URL: <http://alpha-kaken.com/>

E-mail:alf_som@yahoo.co.jp